

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

事業名 GAP産地育成指導事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部農産園芸課ぎふ清流GAP推進係 電話番号：058-272-1111(内4116)

E-mail：c11423@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 4,245 千円 (前年度予算額：3,746 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	3,746	773	0	0	0	0	0	0	2,973
要求額	4,245	4,245	0	0	0	0	0	0	0
決定額	4,245	4,245	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・ GAP指導員養成研修等により令和4年度までに県職員からGAP指導員を169名を育成し、指導体制を整備してきた。
- ・ 県のGAP指導体制を維持するために、引き続き新規採用職員やGAP指導員資格のない職員へのGAP指導員養成及び更新研修を継続する必要がある。
- ・ 今後、GAPに取り組む産地を増やすために、産地へのGAP指導ができる組織評価員の育成を強化する必要がある。

(2) 事業内容

- (1) GAP指導員養成研修
- (2) GAP指導員更新研修
- (3) GAP指導員ステップアップ研修 (QMS, HACCP)
- (4) 組織評価員研修
- (5) GAP指導能力向上に向けた研修

(3) 県負担・補助率の考え方

- (1) ～ (4) については、交付金の対象となるため、国費10/10
(5) については、県10/10

(4) 類似事業の有無

ぎふ清流GAP推進事業費

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託費	4,245	ぎふ清流GAP推進センターへの研修委託費
合計	4,245	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- 「清流の国ぎふ」創生総合戦略（施策編）
3 地域にあふれる魅力と活力づくり
(1) 地域の魅力・清流文化の創造・伝承・発信
⑤「『清流の国ぎふ』ブランド」づくり
- ぎふ農業・農村基本計画
(2) 安心して身近な「ぎふの食」づくり
②安心と信頼を届ける農畜水産物の生産展開

(2) 国・他県の状況

・令和2年3月に閣議決定された食料・農業・農村基本計画においては、「令和12年度までにほぼ全ての産地で国際水準GAPが実施されるよう、現場での効率的な指導方法の確立や産地単位での導入を推進する。」としている。
・令和7年度に開催される大阪万博の食料調達基準は、グローバルGAP等の国際水準GAPの認証農産物及び農水省の国際水準GAPガイドライン準拠の都道府県GAP農産物が優先される予定。

(3) 後年度の財政負担

今後の財源の動向：国費、一般財源

(4) 事業主体及びその妥当性

事業主体：県

「ぎふ清流GAP評価制度」は、県独自の制度であり、県が事業を行うのが妥当。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
ぎふ清流GAPの実践率を令和7年度までに35%に増加させる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
①ぎふ清流GAP実践率	0%	19.2%	15%	30%	35%	55%

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・GAP指導員育成研修を実施し、新たにGAP指導員を22名育成。 ・GAPの推進拠点として「ぎふ清流GAP推進センター」を設置。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・GAP指導員育成研修を実施し、新たにGAP指導員を22名育成。 ・ステップアップ研修、組織評価員研修等、更にレベルの高い指導員の育成に係る研修を実施。
	指標① 目標：5% 実績：9.5% 達成率：190%
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・GAP指導員育成研修を実施し、新たにGAP指導員を19名育成。 ・ステップアップ研修、組織評価員研修等、更にレベルの高い指導員の育成に係る研修を実施。
	指標① 目標：10% 実績：19.2% 達成率：192%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	「食の安全・安心」や環境保全への関心が高まる中、持続可能な農業の実現に繋がるGAPの普及は重要となっている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 3	ぎふ清流GAP認証者は目標以上に増加しており、成果は上がっている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	GAP推進拠点である「ぎふ清流GAP推進センター」、GAP指導員、JA等と連携し、効率的に事業を実施している。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>産地全体でのGAP実践を推進するために、高度な専門知識を有する組織評価員を継続して養成する必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>ぎふ清流GAP評価制度は、国内外に対しSDGsに取り組み、安全で信頼のある県産農林産物をアピールできることから、農業者、関係団体からは認知度向上及び取組拡大の要望がある。申請者が本制度を持続的に活用できるようにするため、申請者を支援できるGAP指導員及び組織評価員の育成及び指導力向上に向けた計画的な人材育成に取り組む。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	